

RESEARCH FELLOW 公募

国立循環器病研究センター研究所 各部紹介

部・室名	医学統計部臨床研究解析室（仮名）
責任者（部長名・室長名）	大前 勝弘
研究内容 <ul style="list-style-type: none">● 臨床研究において、生物統計学・疫学・生物情報学等の素養を備えた専門家の貢献がますます重要視されている。特に当室では、臨床試験・コホート研究、後ろ向き観察研究、データベース研究等の臨床研究において、適切な研究デザインの提案から、データ収集前に事前計画されたデータ解析、あるいはデータ収集後に行われる探索的なデータ分析を通じて、統計学的なアプローチによる主導研究・研究支援を行う。また、実際の研究で生じた具体的な問題を一般的な問題に帰着させた上で、統計的方法論の考案およびその適用による問題解決を目指し、臨床研究と統計研究の課題を相互作用させることで、より革新的な医療構築の為の良質なエビデンスと方法論を生み出すことを目標とする。具体的な研究プロジェクトについては、臨床研究者の要請とプロジェクト担当者の素養や興味に合わせて相談するが、主に循環器疾患に対する治療・医療機器・予防法等によるレジメンの開発に従事する。さらに、そこで生じる統計的課題を解決し、実際の臨床研究への還元を通じて問題解決を目指す。上記の目的を適切に遂行するために、十分な研究倫理観を備えつつ、熱意をもって挑戦する生物統計家・データサイエンティスト（あるいは下記に挙げるような素養を持ち、それらの専門家を目指す方）を広く受け入れる。	
直近3年間の業績（査読付き雑誌の主要な採択論文） <ul style="list-style-type: none">・ Hoshino H, Toyoda K, Omae K, et al. Dual Antiplatelet Therapy Using Cilostazol With Aspirin or Clopidogrel: Subanalysis of the CSPS.com Trial. <i>Stroke</i> 2021 Aug 18;STROKEAHA121034378.・ Uchiyama S, Toyoda K, Omae K, et al. Dual Antiplatelet Therapy Using Cilostazol in Patients With Stroke and Intracranial Arterial Stenosis. <i>Journal of the American Heart Association</i> 2021; 10(20).・ Yoshimoto T, Saito S, Omae K, et al. Study Protocol for a Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase-II Trial: AdrenoMedullin for Ischemic Stroke Study, <i>Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases</i> 2021; 30(6).・ Asakura K, Evans SR, Hamasaki T. Interim Monitoring for Futility in Clinical Trials With Two Co-Primary Endpoints Using Prediction. <i>Statistics in Biopharmaceutical Research</i> 2020; 12(2): 164-175.・ Omae K, Eguchi S. Quasi-linear Cox proportional hazards model with cross-L1 penalty. <i>BMC medical research methodology</i> 2020; 20(1): 1-12.	
その他 情報 求められる素養の例：生物統計学、疫学、数理統計学、最適化理論、バイオインフォマティクス等の知識、統計解析プログラム言語（R,Python,SAS,Matlab等）の実践能力、研究倫理	